

R7年度 第2回 市民講座

～もがみの食世界への誘い～ いざな

本学は農業・森林業と食の「知の拠点」として、未来を切り開く農業・森林業の専門的人材の育成を目指しております。また、本学では広く地域に貢献するべく一般市民のみなさんに公開講座を企画し、開催します。最上地域の風土に根ざした新たな文化創造などについて皆さんと語らい合う場として、多くの方々のご来場をお待ちしています。

▼日時・会場

令和7年12月6日(土)

受付開始：13:00

開催時間：13:30～15:30

会場：東北農林専門職大学 交流棟2階 大講義室

▼申込方法(先着50名／対象:地域住民、高校生・大学生、県民、関係機関 等)

参加無料

参加申込専用フォーム
(右記二次元コード)

申込締切
12/5(金)



または
裏面参加申込書を
FAX

▼講演 第Ⅰ部

演題「最上传承野菜の可能性を語る」

講師 津藤 真知子氏

株式会社もがみ物産協会 顧問
最上传承野菜推進協議会会員
新庄商工会議所商業部会長



プロフィール

新庄市在住。
最上传承野菜の流通をしながら
生産者との情報共有をしている。
顧客のニーズを生産者へ伝え、
持続販売を模索している。
もがみ物産館を経営しながら
地元の学生へ地域の魅力や課題
を話す機会を大事にしている。
最上地域の元気は経済が回ること
が大事。人が人を呼び魅力に
なる。人材が地域の宝と語る。



▼講演 第Ⅱ部

演題「山形県の米づくりの魅力」

講師 柴田 康志氏

東北農林専門職大学
農業経営学科 准教授



プロフィール

真室川町出身。1985年山形県入庁。
農業総合研究センター水田農業研究所研究主幹
などを歴任。水稻や大豆の栽培技術に関する研究
や技術普及に取り組む。水稻ブランド品種
「つや姫」「はえぬき」の高品質安定生産を図
るうえで重要な栽培マニュアルを作成。
主な論文として「栽植密度の違いが高温登熟に
遭遇したイネの玄米外観品質
に与える影響」「大豆の狭畦
密植栽培法と地下かんがい法」
などが知られている。



《お問合せ》 東北農林専門職大学 企画課

TEL:0233-22-1527 FAX:0233-23-3119 (新庄市大字角沢1366)

—参加申込書— 東北農林専門職大学 『第2回 市民講座』
令和7年12月6日（土）開催

東北農林専門職大学 企画課 あて

FAX:0233-23-3119

申込締切:令和7年12月5日(金)

市町村名 【 】

電話番号 【 】

メールアドレス

(任意)【

No.	お 名 前	所属・団体名 等
1		
2		
3		

○講演予定の講師への事前質問

(最初に、質問したい講師の名前を記入のうえ記述ください)

[illegible]

《お問合せ》 東北農林専門職大学 企画課

TEL:0233-22-1527 FAX:0233-23-3119 (新庄市大字角沢1366)